2年間の単元配列

① 単元名の文字の色は，指導書分冊の２，３，４と対応しています。（●は２「季節とかかわるくらし」，●は３「動植物とかかわるくらし」，●は４「人・ものとかかわるくらし」）
② それぞれの単元のベースの色は，領域的なまとまりを表しています。

	春	夏	秋	冬
1年	**みんな ともだち（いって きます）** 幼保小の円滑な連携が図られるよう，遊びを中核としながら学校生活での活動範囲や視野を広げていく姿をとらえた。地域の人に見守られながらの登下校，遊びや学校探検などを通した上級生や教職員との出会い，施設設備等の認知を通して，自らの手で生活圏を広げ，楽しく安心な学校生活を送れるようになる単元。	**はるが いっぱい** 学校の行き帰りに見つけたものや，朝の会の話題などをきっかけに，春の野に繰り返し出かけ，からだごと春の自然事象とかかわったり春の恵みを食したりしながら，自然に対する感受性を磨いていく単元。 **たんごの せっく** いわれややり方を意欲的に調べたり，端午の節句にかかわる活動をしたりして，節句を祝ってくれる家族の気持ちや大事にされている自分を感じることができる単元。	**きれいに さいてね** ２年生から贈られたアサガオの種をきっかけに，自分たちの手でつくった鉢（土壌）に種をまき，発芽から開花までの成長を見続けるなかで，アサガオへの親しみをもち，植物の命に触れていく単元。 **いきものと いっしょ①** ウサギなどの生き物と直接かかわることを通して，それらも自分たちと同じように生命をもっていることを実感し，生命あるものへの慈しみの気持ちを深めていく単元。	**まぶしい なつ** 夏の様々な事象にからだごと思い切りぶつかり，夏ならではの体験を重ねていくなかで，友だちや自然とのかかわりを深めていく単元。 **いきものと いっしょ②** 生き物の成長に伴う変化に応えて，それにかかわる生活をよりよくしていく。ここでは，特に成長に伴う様々な変化に気付くとともに，みんなで協力して，生き物▶◀にとって具合のよい小屋を作るなど，よりよい世話を求めていく単元。 **たなばた** 七夕のいわれを知ったり，星の世界に浸ったりして，自分たちの願いをもって楽しい「たなばた」にしていく単元。	**ひとつぶの たねから** アサガオの花を咲かせ，種の数を数えたり，観察したり，花や葉の特性を生かした叩き出しや草木染めの作品を制作するなかで，一粒の種のもつ生命に心を寄せるとともに日常生活を工夫して豊かにしていく単元。 **みのりの あき** 実りの秋を迎えて，収穫したものをみんなで食して味わうとともに，身近なところにも多くの収穫物があることを知り，収穫のよろこびを味わう単元。 **おつきみ** 豊作への感謝の気持ちをもち秋を味わうとともに，お月見のいわれ調べやだんご作り，お月見にあった教室の飾りつけなど，自分たちで季節の行事を進めていこうとする単元。	**あきが いっぱい** 秋の野に繰り返して出かけ，秋の自然とかかわりを深め，落ち葉や木の実などの感触を味わったり造形遊びやおもちゃづくりを楽しんだりするなど，情感豊かに表現していく単元。 **はしれ はしれ** 身の回りにある材料を使って走る車を作るなかで，より真っ直ぐに，より遠くまでという願いをもち，試しては作ることを繰り返し，車軸の位置や付け方などを工夫していく単元。 **ふゆも げんき** 寒さも忘れ雪や氷と思い切り遊ぶなかで，冬ならではの楽しみを味わったり，お正月の伝承遊びや季節の行事をおこなったりしながら，春への期待をふくらめていく単元。 **ひなまつり** いわれややり方を意欲的に調べたり，ひな祭りにかかわる一連の活動をしたりして，ひな祭りを祝ってくれる家族の気持ち，大事にされている自分や自分自身の成長を感じることができる単元。 **わたしたちの 一ねんかん（ありがとう 一ねんかん）** できるようになったことなどわかりやすい成長だけでなく，目に見えにくい精神的成長までも含めて一年間を振り返ることで，自分自身に自信や希望をもつとともに，友や上級生，家族に感謝の気持ちをもつ単元。
2年	**二年生の 春（きょうから 二年生）** 上級生になったよろこびを胸に登校し，新しい友との出会いや教室づくりから２年生をスタートさせていく。いつもの場所に出かけながら，１年生とは違う意欲的・自主的な姿でよりよい学級をつくっていこうとする単元。	**れんげえんそく** 自分たちの願いの実現のために，目的地までの行き方や手段を調べ，駅へ下見に行ったり持ち物を考えたりする。さらに自分たちで家庭にお知らせを出すなど準備を整えて当日を迎え，目的を果たせたことをよろこび合う単元。 **いきものと いっしょ③** 命の誕生や別れなど，生き物とのくらしを重ねていくなかで，より一層対象への思いを深め，ため込んでいく子どもたち。生き物と共に過ごした日々を表現活動を通して振り返り，共に育ってきた自分自身の成長を実感していく単元。	**いっぱい みのって** 大豆が動物の食べ物になることや，様々に加工され日常の食生活に欠かすことのできない存在であることに注目して取り組む大豆栽培学習。成長の観察や地域の方への聞き取り，鳥虫害への対応など，課題を乗り越えていこうとする単元。 **かがやく 夏** 音を通して夏の風物詩を感じ取りながら，日々のくらしや町の様子への視野を広げて自らの生活を豊かにしてゆく。また，地域の川で水遊びをしたり生き物を捕ったりする活動を通して，川と生き物とのかかわりを深め，ふるさとの川への愛着をもつ単元。 **すすめ すいすい号** 水遊びをきっかけに，自分たちが乗れる舟を作りたいと願い，その実現に向けて材料を集め，作っては試す活動を繰り返しながら制作していく。出航のときをみんなで迎え，成就感や冒険心を味わう単元。	**いっぱい みのったね** 自分たちが育ててきた大豆を収穫し，加工して食すなかで，収穫のよろこびを実感していく単元。 **わたしたちが すむ 町** 自分たちの生活は，地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることがわかり，人々と双方向のかかわりをもって接することで，地域の人々や地域に親しみや愛着をもっていく単元。	**冬と お正月** お菜洗いなどの冬支度をきっかけにして，冬やお正月にまつわる行事を行い，伝統のなかに存在する人々の知恵や心に触れ，生活を豊かにしていく単元。 **わたしと かぞく** 家庭の話題から，自分と家族のつながりを考えたり家族の思いに触れたりして，家族のかけがえのない一人として生活していこうとする単元。	**大きく なった わたし** 小さい頃を振り返ったり赤ちゃんを抱っこする体験をしたりする中で，自分の成長には多くの人々の支えがあったことを知り，感謝とよろこびをもって生活しようとする単元。 **てづくりおもちゃ** いくつかの手作りおもちゃを示し，自分の興味に合わせて選択し作り上げていく単元。	**生活科の 二年間（もうすぐ 三年生）** 二年間の学級の歩みや学習記録を振り返り，友や家族に支えられながら仲間と共に成長できたことを実感していく。二年間のなかで見つけた自分のよさや可能性を生かし，３年生の生活に夢と希望を抱く単元。